

GREEN RADAR

Vol.506
2021

7

Contents

A-Policy【重点事業方針】

- ・生産販売部 営業課の取組み
- ・生活部 生活課の取組み

A-Reports

- | | | | |
|---------------------------------|---|--------------------------|----|
| ・令和3年度 長野県青果物WEB取引会議を開催 | 3 | ・フルってご応募を！「パシャフル！」キャンペーン | 7 |
| ・善光寺大本願で長野県青果物商売繁盛を祈願 | 4 | ・新採用職員紹介 | 8 |
| ・ショーウィンドウを利用して長野県産農畜産物をPR | 4 | ・古往今来 | 9 |
| ・新幹線で旅する生花 | 5 | ・今月のおすすめレシピ | 10 |
| ・JR新宿駅の「あずさマルシェ」で県産花きをPR販売 | 5 | ・JA全農長野の事業現況 | 10 |
| ・「JA農業機械ご成約キャンペーン」開催 | 6 | ・7月のラジオ番組表 | 10 |
| ・セブン-イレブンで、長野県産がなしめじを使ったおむすびを販売 | 6 | ・編集後記 | 10 |



営業課

生産販売部
営業課の取組み

■令和2年度品目別販売経過

直販事業は、様々な業態の取引先（量販店、生協、加工・業務用実需者）に対し、JAの協力を得ながら、既存取引品目の維持、拡大を進めてきました。コロナ禍により従来の販促企画が実施できませんでしたが、実需者毎に本県産のPR、販売拡大につながる新たな取り組みを行いました。また、対面商談ができず、意思疎通が難しい面がありました。電話、Webを活用した営業を展開し、コミュニケーションを深めました。

企画の実施や漬物製造メーカーとの原料契約量を増加したことにより、前年を上回る取扱高を確保しました。

さこのは量販店への継続した企画提案と新たな品目提案および年間をととした本県産の売り場確保を進めました。花きはコロナ禍によりブライダル、セレモニー関連の需要が長期に渡り大きく低迷しました。新規に県内外小売店への販路拡大を進めましたが、販売推進の難しい年となりました。

以上の結果、取扱金額は146億円と前年比111%となりました。

■令和3年度の重点取組事項

令和3年度は供給高計画を159億円として、次の重点取組み事項を設定し、計画必達を目指します。

1. 生産者手取りの最大化に向けた営業・販売力の強化

(1)積極的営業展開により既存重点顧客および帳合先との関係を強化し、

2. 商品開発力・提案力強化による販売拡大

(1)既存委託取引先との連携強化による、産地パッケージ商品を新規創出します。

(2)県産加工製品の開発に伴い、商流・帳合機能を発揮します。

3. マーケティング情報に基づく生産販売提案の取組み強化

(1)営業日報管理システムの活用による県本部内の情報共有（連携）を

図り、より円滑な取引の実践と営業推進を行います。

(2)営業活動により得られた情報に基づき、新規品目・新規企画・商品企画の提案と供給ルートを開発します。

(3)生産振興部ならびに関係部署と連携し、需要に応じた品目の生産振興と産地発信による品目提案を進め、産地開発と商品提案力を強化します。

4. 集出荷・輸送・荷降ろしの効率化

(1)直販青果物輸送における課題に対し、取引先への要請を含めた改善対策を検討します。

(2)調整保管・配送機能等を具備する取引先と連携し、輸送効率化を研究します。

(3)コスト抑制に向けたリパック品等のアイテム整理を行います。

5. 債権管理の徹底

(1)請求・精算、代金回収まで一連の業務を担う課であることの認識を持ち、債権管理を徹底し営業推進を展開します。

生活課

生活部生活課の取組み
「耐久資材の重点品目「補聴器」の推進について」

県下JAでは、耐久資材の重点品目の一つとして「補聴器」の推進を実施しています。2年度の推進はコロナ禍により自粛傾向になったものの、県下では302台ご購入いただきました。補聴器は加齢による聴力の低下を補う機器として、高齢化とともに需要が高

まっています。

補聴器の取扱いメーカーの説明によると、人間には内耳に「蝸牛^{かきまづ}」というカタツムリのような形の器官があります。蝸牛は、入口から奥まで「有毛細胞」という音を感じ取る細胞で形成されており、蝸牛入口の有毛細胞が一番

補聴器の種類

補聴器		装用イメージ
耳かけ型	- 豊富な機能と種類で、幅広い聴力に対応。 - ファッション感覚で楽しめる、カラフルな色、おしゃれなデザイン。 - 快適に装用でき、疲れにくく、自声や音がこもりにくい。	
		
耳あな型	- 一人ひとりの耳に合わせたオーダーメイド。 - 全方向から見ても目立たず、帽子・マスクを合わせることも可能。 - 耳本来の自然な方向感を得やすい。	
		
充電式	長持ち&持ち運びやすい充電式。	

ご希望
(○・×)

高い周波数の分析をするため、あらゆる音にさらされてダメージを受けるそうです。そのため、加齢による聴力低下は、まず高音域から聞こえなくなるといわれています。聴力は人間ドックでも検査があるため、ご自身の聴力を把握されているかと思えます。現在は、インターネットでも「耳年齢」と検索すると自身の耳年齢を確認できるサイトもあるようです。

聴力低下による日常生活の影響は、テレビの音声や人との会話が聞き取りにくくなることでストレスとなったり、車のクラクションや自転車の気配に気付かず事故につながったりする危険性もあります。また、ご本人だけでなく対話をする相手にとっても、会話のキャッチボールができずお互いにコミュニケーション不足となることもあります。

コロナ禍による集りでも自宅にいる時間が増え、電話やオンラインによるコミュニケーションやテレビでのス



聞こえの健康セミナー

令和3年度 長野県青果物WEB取引会議を開催

J A全農長野生産販売部は5月31日(月)、J A長野県ビル内で長野県青果物WEB取引会議を開催しました。県内外の青果主要卸売会社5社の代表と全農長野の伊藤茂運営委員会会長、御子柴茂樹副会長、畠田武司県本部長、岡村達雄副本部長など、24名が出席しました。

この会議は、同日に予定されていた長野県青果物・花き取引会議が、新型コロナウイルスの感染拡大により中止になり、それに代わる情報共有の場としてWEB形式で開催しました。

伊藤会長は主催者挨拶の中で「J A全農長野の本年度生産販売部の取扱目標は1,594億円。今年は生育が前進化傾向であり、精度の高い情報発信がより重要になってくる。目標達成のためにも、J Aグループ一体となって出荷数量の確保、卸売市場との緊密な連携による販売力強化に努めて参りたい」と述べました。

続いて、ご来賓を代表して太田副知事より「第3期長野県食と農業農村振興計画に沿って、消費者ニーズに対応した園芸作物の生産振興を行っていく。今年の秋には赤系ブドウの新品種クインルージュ®のデビューに際して、県知事のトップセールスも計画している」との挨拶をいただきました。

長野県小林安男農政部長からは「長野県農政の展開方向」について、全農長野電野生産販売部長からは「長野県本部青果物生産販売方針等」について

て説明があり卸売会社の代表5社の方より、「長野県に期待すること」について提言をいただきました。

東京青果(株)川田一光社長からは「新品種売り込みのための事前情報や、ドローンを活用しての産地情報等の積極的な発信をお願いしたい」、大果大阪青果(株)中内良一社長からは「野菜は天候不順の中でももう少し安定的な生産を、果樹は更なる生産拡大をお願いしたい」、セントライ青果(株)小坂芳則社長からは「コロナ禍においても十分に営業活動は可能であり、多種多様な販売先をもつ市場機能を十分に発揮していきたい」、福岡大同青果(株)丸小野光正社長からは「とにかく安定した数量と品質確保をお願いしたい。また、バィヤーの目に見える産地情報が必要」と、(株)R&Cホールディングス堀雄一社長からは「強固な生産基盤の確立



来賓挨拶をする太田副知事

をお願いするとともに、販売側では産地品目事情に応じた企画提案をもっと増やしていきたい」と提言がありました。

さらに、各品目専門委員会を代表して、小池宏明果実専門委員長からは今年のポイントとして「低温被害があったが、着果量確保に向けた指導と、目に見える形での産地情報の発信を行ってきたい」、由井和行野菜専門委員長からは「異常気象の中でも安定的な出荷を目指して、品種改良や圃場整備等進めていきたい」、佐々木真きのこ専門委員長からは「再生産価格の確保のため、実需者との紐づけや輸出等の新しい需要の創出もお願いしたい」との発言をいただきました。

生産販売部では、今後もWEBを積極的に活用した会議や商談を実施し、新しい業務の推進方式を進めて参ります。



会議の進行をする畠田県本部長

善光寺大本願で 長野県青果物商売繁盛を祈願

5月31日(月)に開催した、長野県青果物WEB取引会議に先立ち、同日午前11時より善光寺大本願において、商売繁盛祈願祭を執り行いました。本年はコロナ禍での対応として、J A全農長野運営委員会の伊藤茂会長、御子柴茂樹副会長、J A全農長野の畠田武司県本部長、竜野竜生産販売部長、他関係者の合計8名が代表者として参加しました。県内各J A産の果実、野菜、きのこ、花きを奉納し、大本願の鷹司誓



榮副住職よりご祈禱いただきました。

青果物販売は令和2年11月以降、度重なる緊急事態宣言と蔓延防止等重点措置の発令による外食、業務の停滞により市場価格は長期にわたる低迷から脱せられていません。一日も早いコロナ禍による景気低迷からの回復と長野県J A産青果物・花きの需要回復、さらにはお取引いただく青果物卸売会社様、花き卸売会社様の商売繁盛を祈禱しました。

青果物・花き業界の、そして全世界の祈りが届くことを切に願います。



ショーウィンドウを利用して 長野県産農畜産物をPR

この場所は大阪本場の大通りに面しており交通量も多く、市場関係者をはじめとより地域住民の方の目にも触れる場所です。

ショーウィンドウには果実・野菜・きのこ・花き・牛肉のポスターやPOPに加え、ジュースやなめ草といった加工製品も陳列し、県産農畜産物の総合PRとしてディスプレイしました。



J A全農長野大阪販売事務所は6月7日(月)より、大阪本場果実仲卸の(株)万果のご紹介により、マンカ流通グループ本社ビル1階のショーウィンドウで県産農畜産物のポスター等の展示を始めました。



新幹線で旅する生花

～JA中野市産シャクヤク～

JA全農長野東京販売事務所は、JA中野市と(株)大田花きの協力のもと、新幹線での花き輸送の取り組みを行いました。これは、コロナ禍で人の動きが制限される状況のなか、少しでも旅気分を味わっていただきたいと関係機関が連携して実現した企画です。

5月27日(木)、JR長野駅発9時26分の新幹線でJA中野市産のシャクヤクが出發し、JR東京駅に到着後、その日午後から青山フラワーマーケット東京グランスタ店とエキュート品川店で販売されました。新幹線



JR駅構内の電子掲示板



新鮮なシャクヤクが並んだ売場

で運ぶことで産地直送の鮮度感や付加価値をアピールしながらの販売となり、用意した2000本は予定した3日間の販売期間終了前に完売となりました。

JR駅構内の電子掲示板やインスタグラム、青山フラワーマーケット公式ホームページで事前告知を行い、当日は夕方のニュースでも取り上げられ、新たな取り組みという話題性とともに



東京駅構内を移動するシャクヤク

幅広い方々に興味を持っていただく機会となりました。

～特急あずさで信州をお届け！～

JR新宿駅の「あずさマルシェ」で県産花きをPR販売

JA全農長野野菜花き課と営業課は、JR東日本長野支社、ハマ園芸(株)などと連携し、5月18日(火)・19日(水)にJR新宿駅で開催された「あずさマルシェ」で、長野県産のアルストロメリアを使った花束を販売しました。

「あずさマルシェ」はJR東日本

による企画で、長野県の良いものを広域に発信する取り組みの一環として、あずさ号沿線の物産品を特急あずさ号に乗せ、新宿駅で販売・PRするイベントです。特産品の販売による長野県の魅力発信のほか、観光PRも目的とし、長野県産花きのほか、朝打の蕎麦、山菜、牛乳パン、七味唐辛



手に取りやすい花束にして販売

的とし、長野県産花きのほか、朝打の蕎麦、山菜、牛乳パン、七味唐辛

子などが販売されました。長野県産のアルストロメリアを使った花束は、ご自宅用、プレゼント用のどちらにも使える仕様で販売し、購入客からは非常に好評だったとのこと。販売に協力いただいたJRスタッフからは、仕事帰りの男性も多数が手に取っていたとの報告があり、長野県産のイメージの売場の中で花のPR販売を行うことができました。



多くの駅利用者が立ち寄った売場



アルストロメリアを紹介するPOP

「JA農業機械ご成約キャンペーン」開催

JA全農長野農業機械課は、農業機械をご成約の組合員みなさまに感謝の気持ちを込めて、抽選で信州の牛肉をプレゼントする「JA農業機械ご成約キャンペーン」を6月1日から8月31日まで実施しています。

JA農業機械センターで、1台あたり100万円以上の農業機械をご成約され、ご応募いただいた方の中から抽選で100名様に、①肩ロースすき焼き用1kg(信州プレミアム牛肉)、②ロースステーキ400gごすき焼き用200gのセット(信州プレミアム牛肉)、③ロースステーキ600gごすき焼き用500gセット(信州アルプス牛)

のいずれかをプレゼントいたします。抽選に外れた方にも、もれなく粗品を進呈いたします。

今年も「JA農機&資材フェスタ2021」の開催に向け準備を進めて参りましたが、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の収束が見込めず、来場者およびスタッフへの感染防止を最優先に検討した結果、全JAの総意により中止といたしました。

同フェスタは、多くの組合員

みなさまにご来場いただき、農業機械を確認しながらご成約をいただく場として、また、近年では最先端のスマート農業技術を紹介する場として開催して参りましたが、その機会が失われ残念です。

なお、農業機械推進策として、メーカー各社の協力も得て、農機&資材フェスタで人気のある「目玉機」の特別価格の設定や特別推進などの企画を進めておりますので、ぜひ最寄りのJA農業機械センターへお越しください。展示機や各種パンフレットをご用意し、みなさまをお待ちいたしております。

農業機械ご成約キャンペーン

信州の牛肉を当てる！

抽選で100名様に当たる！

※1台あたり100万円(税込)以上の農業機械ご成約が応募条件です。

信州プレミアム牛肉

①肩ロースすき焼き用1kg分
②ロースステーキ400g
③すき焼き用200gセット

信州アルプス牛

③ロースステーキ500g
④すき焼き用500gセット

JA農業機械センター・JA全農長野

セブンイレブンで、長野県産ぶなしめじを使ったおむすびを販売

JA全農長野営業課は、コンビニエンスストア「セブンイレブン」のエリア限定商品にJA中野市産のぶなしめじを供給し、商品名に「信州産きのこ」をつけていただくことで、本県産きのこのPRと認知度向上を図りました。

販売地域、販売期間とも限定的な商品で、実際に使用したぶなしめじも少量ではありましたが、コロナ禍で業務需要が落ち込む中、貴重な納品先のひとつとして対応を進めてきました。営業課では、今後も業務加工用として本県産きのこを使用していたる取引先の拡大を推進します。

商品名：信州産きのこが入った炊込みご飯おむすび
販売地域：セブンイレブン店舗(山梨県・長野県エリア)
販売期間：令和3年5月10日週～約2カ月間



新採用職員紹介

令和3年度の新採用職員18名を順次ご紹介します

【生産購買部 包装資材課 松原 桃子】

はじめまして。生産購買部包装資材課の松原桃子と申します。須坂市出身で、実家は兼業農家のため幼いころから農業に親しんできました。大学では日本史を専攻し、4年間歴史漬けの日々を過ごしました。趣味はクラシックバレエとバスケット観戦で、神社仏閣を訪れるのも好きなので、コロナが落ち着いたなら全国各地を巡りたいと思っています。仕事に関しましては、日々の業務を通し様々な経験や学びを吸収していきたいと思っています。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



元気
いっぱい
がんばります。

【生産購買部 農業機械課 農機協同経営グループ 藤巻 遼平】

はじめまして。生産購買部 農業機械課 農機協同経営グループの藤巻遼平です。趣味は野球、ボウリング、温泉巡りなどです。温泉巡りと記載しましたが、ほぼほぼ川中島温泉に行っています。今まで農業に触れてきませんでしたので1からのスタートになりますが、積極的に業務に励み、少しでも早く長野県農業の力になれるよう精進していきたいと考えています。何卒よろしくお願いいたします。



共同購入
トラクター
「SL33」に乗り、
笑顔の藤巻

【生産購買部 生産資材課 半田 ゆめの】

こんにちは！生産資材課の半田ゆめです。出身は須坂市です。吹奏楽をやっていたので特技はサクソを吹くことです。サクソ以外ではテニスをするのも好きです！

知識が乏しいため大変なこともあります、地元長野県で昔から興味があった農業に関する仕事ができとても充実しています。長野県の農業に少しでも貢献できるよう、向上心を持って頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします！



いつも
笑顔で
頑張ります！

【畜産酪農部 酪農課 小口 あい】

こんにちは！畜産酪農部酪農課の小口あいと申します。

出身は茅野市で、趣味はスキーです。大学は北海道に行き、教育学部でスポーツとアウトドアを専攻しておりました。北海道の大自然も大変魅力的だったのですが、長野県が恋しくなり就職を機に本会に入会いたしました。

農業の知識を専門的に学んできたわけではないので、勉強の日々ですが少しでも早く組合員の皆さんのお役に立てるよう努力して参ります。よろしくお願いいたします。



信州の自然と
おいしい
牛乳が
大好きです!!

A-Board

果実課より

フルってご応募を！ 「パシャフル！」キャンペーン

果実課は、7月1日（木）より、フルーツフォトコンテスト「パシャフル！」を開催します。

Instagramで「#パシャフル」をつけて、信州産果実を使った写真・動画を投稿していただくウェブコンテストです。

昨年、大好評だったこの企画。今年は内容をさらにパワーアップしています。

①開催期間が7月1日～12月31日の6か月に！

より長く信州産果実を楽しんで頂けるよう、昨年より2ヵ月期間を延長しています。

②豪華景品！

入賞された方には、信州産農産物をプレゼント致します。「グランプリ」「全農長野賞」に加えて、今年は「がぶり賞」を新設。“がぶり”とフルーツにかじりついた写真の投稿をお待ちしております。

③かんてんぱぱ®とのコラボ企画！

昨年に引き続き「かんてんぱぱ賞」に選ばれた方には、かんてんぱぱ製品の詰め合わせをプレゼントいたします。おうち時間にちょっと手作りしませんか？

皆様からの素敵な投稿、お待ちしております。

『旬の信州産フルーツ』をテーマにした 写真、動画を募集します！

▲応募方法

Instagram公式アカウント **@shinshufruits** をフォローして、
#パシャフル をつけて投稿してください。



●応募期間

第1弾 7月1日～7月31日	第4弾 10月1日～10月31日
第2弾 8月1日～8月31日	第5弾 11月1日～11月30日
第3弾 9月1日～9月30日	第6弾 12月1日～12月31日

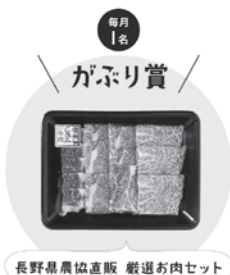
審査発表は
翌月15日
ごろ

●入賞＆賞品

※各賞の賞品は予告無く変更になる場合がございます。予めご了承ください。



長野県農産物詰め合わせ



長野県農協直販 厳選肉セット



JA産 旬のフルーツ

さらに



かんてんぱぱ賞

かんてんぱぱ コラボ

『寒天 × フルーツ』寒天をつかった
フルーツ写真、動画を募集します。

#パシャフル #寒天 をつけて投稿してください！

お問合せ

全国農業協同組合連合会
長野県本部 (JA全農長野) 果実課
フルーツフォトコンテスト係
<https://shinshufruits.com/>
〒380-8614
長野県長野市大字南長野北石堂町 1177 番地 3
Instagram公式アカウントのメッセージ機能を通じて、公式アカウントまでお問合せください

パシャフル 検索

※ご応募いただいた作品は JA全農長野のWebサイトへ掲載するとともに、JA全農長野の広告やポスター、チラシ等へ応募作品を掲載する場合がありますので、予めご了承ください。※入賞者への連絡は、InstagramのDM機能を通じて連絡を行いますので、ご連絡の際にアカウントのフォローを解除していただき、1週間ご返事がいただけない場合には入賞を取り消す場合があります。



〈応募方法〉

- Instagram公式アカウント「@shinshufruits」をフォロー
- 「#パシャフル」をつけて、旬の信州産フルーツをテーマにした写真・動画を投稿
- かんてんぱぱ®とのコラボで、かんてんぱぱ賞も募集。
「寒天×フルーツ」をテーマとして、寒天を使ったフルーツ写真・動画に「#パシャフル」「#寒天」をつけて投稿してください。

JA全農長野の事業現況

令和3年度5月末部門別実績表 (単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
野菜種苗センター		68	113	112
生産振興部計		68	113	112
米	穀	2,422	104	85
果	実	260	158	147
野菜花き		3,306	88	123
きのこ		2,252	85	83
営業		977	86	101
生産販売部計		9,217	92	98
包装資材		779	74	91
生産資材		2,358	109	95
農業機械		1,435	125	74
施設住宅		1,158	126	128
生産購買部計		5,729	108	93
畜産		2,164	106	127
三岳牧場		38	97	79
SPF繁殖センター		49	97	97
酪農		2,773	103	105
ハケ岳牧場		40	104	114
畜産酪農部計		5,064	104	113
燃料・ホームエネルギー		4,069	124	136
S S 協同経営		1,134	111	98
生活		1,564	104	100
生活部計		6,767	116	118
長野県本部計		26,845	103	104

(内部販売高含む)

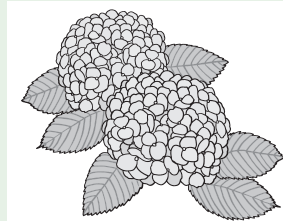
7月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
7/28(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶりでい内 「暮らしの応援団」	生活課

グリーンレーダーの
ツイッターを始めました

JA全農長野
【公式】グリーンレーダー

@ja_greenradar



が、地道な感染対策を続けるしかありません。今が踏ん張りどころです。(一)

さて新型コロナウィルス感染症についてはまだまだ我慢の日々は続きます

梅雨といえは、この時期を代表するものとして「梅」があります。今年は自分で焼酎お湯割用の梅干しを作るべく、近くのJA農産物直売所で梅を購入しました。幼い頃、この季節になると、母親が梅干し作りを始めていたのを思い出します。庭に実った梅を収穫し、晴れた日には家の外で梅を広げ、熟すのをしばらく待って取りました。その時に辺りに漂う梅の香りは甘酸っぱく、とても爽やかでよい香りだったのを覚えています。ジメジメした時期で気分も冴えない日が続きますが、自家製梅干しの完成を楽しみに梅雨を乗り切りたいと思います。

いよいよ梅雨の季節がやってきました。5月初めの沖縄地方と鹿児島県・奄美地方を皮切りに5月半ばには近畿と東海が梅雨入りをしました。長野県は平年より7日、昨年より3日遅い6月14日に梅雨入りしました。梅雨といえは、この時期を代表するものとして「梅」があります。今年は自分で焼酎お湯割用の梅干しを作るべく、近くのJA農産物直売所で梅を購入しました。幼い頃、この季節になると、母親が梅干し作りを始めていたのを思い出します。庭に実った梅を収穫し、晴れた日には家の外で梅を広げ、熟すのをしばらく待って取りました。その時に辺りに漂う梅の香りは甘酸っぱく、とても爽やかでよい香りだったのを覚えています。ジメジメした時期で気分も冴えない日が続きますが、自家製梅干しの完成を楽しみに梅雨を乗り切りたいと思います。

編集後記

梅雨といえは、この時期を代表するものとして「梅」があります。今年は自分で焼酎お湯割用の梅干しを作るべく、近くのJA農産物直売所で梅を購入しました。幼い頃、この季節になると、母親が梅干し作りを始めていたのを思い出します。庭に実った梅を収穫し、晴れた日には家の外で梅を広げ、熟すのをしばらく待って取りました。その時に辺りに漂う梅の香りは甘酸っぱく、とても爽やかでよい香りだったのを覚えています。ジメジメした時期で気分も冴えない日が続きますが、自家製梅干しの完成を楽しみに梅雨を乗り切りたいと思います。

今月のおすすめレシピ

ツルっとのどごしで食べる！ えのきたけとなめこの とろろそば

トロトロ温玉
をくずして
豪快にひんやり
食べて



レシピ考案 ひあん(大口知子)

■材料(2人分)

- ・えのきたけ 100g
- ・なめこ 100g
- ・酒 小さじ1
- ・めんつゆ(3倍濃縮) 100cc
- ・冷水 150cc
- ・油揚げ 1枚
- ・長芋 200g
- ・オクラ 2本
- ・そば 2人分

■作り方

- ①耐熱ボウルに、石づきを切り落として長さを4等分したえのきたけ、なめこ、酒を入れてラップをして電子レンジ600Wで2分加熱する。
- ②取り出したらラップを外してめんつゆを加えて混ぜ、粗熱が取れたら冷水を加えて混ぜてつゆを作る。
- ③フライパンで油揚げをカリッとするとまで両面焼いたら、食べやすい大きさに切る。
- ④そばを茹で、冷水にとってめりを取りながらよく洗い、ザルにあげて水気をよくきり皿に盛る。
- ⑤すり下ろした長芋をかけ、②のつゆをかけ、③の油揚げ、温泉卵、茹でて半分に切ったオクラを添える。

古往今来

【昭和61年(1986年)パリ国際見本市に参加】



SIAL86

パリ国際食品見本市

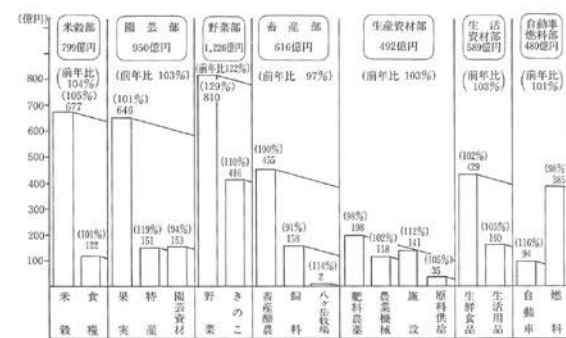


長野県のリンゴ・ナシ・きのこ類、パリで好評。
連日の人波で試食品提供に汗だく!!

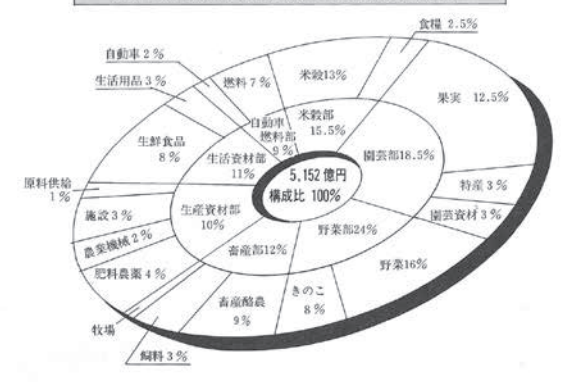
文・撮影
園芸部果実課長
洞田喜久馬

【昭和60年度(1985年度)事業取扱高5000億円突破】

60年度部門別取扱実績(事業量5,152億円・前年実績比107%)



60年度部門別取扱実績構成比



▶次号は、1988年9月に開設したシアトル駐在について掲載します。

NEWS

長野県農産物、パリでも好評!

—— 第12回パリ国際食品見本市 ——



一、見本市のあらまし
世界の中をあらゆる食品をパリ市郊外のパリール会場(展示面積七万五千平方メートル)に七十六国、四千企業・団体が参加して十月二十一日〜二十四日まで開催された。本年は二回目となるが日本としては初めての試みで長野県、全農を含め八団体六企業が参加した。
二、反響と効果
会場は毎日数万人の訪問者でにぎわい、特に日本コーナーには日本食ブームの反映と初参加とあって連日観覧客の人波であり日本食への関心の高さがうかがわれた。経済通としては、リンゴ「ふじ」、二十世紀ナシ・えのきたけ・本しめじ・信州しめじを試食用として持ちこみ、果実は皮をむき、きのこは簡単な調理をして試食に供したが、味覚はいつも好評で試食訪問者約二万人に及び、特に二十世紀ナシのジュースの豊かさ、外観のすばらしさに賞讃をし、きのこの産地と味のよさも好評で、栽培方法については質問も数多くあった。商談関係については全農を窓口で進め、会場で四八〇の名額が交換され、現在までに二十世紀ナシ、リンゴ、二十世紀ナシのきのこ、信州のいんげん、山梨のりんごの対応にいたっている。田舎の関係もあるが今回の参加により、長野県農産物の宣伝と貿易の可能性にきざしが見えたような感じを受けたと(果実課)。

【昭和61年(1986年)養連と合併】

NETWORK NEWS

長野県経済連 長野県養連 合併報告会

— 新養蚕事業をめざして —



経済連と養連は、四月一日をもって合併することに伴い、去る三月二十一日長野市東条会館において合併報告会を行った。「寧ろ報告会には、長野県知事(園芸部果実課長)・阿部副知事(園芸部果実課長)・連合会長(母袋忠石)・元連合会長(田中一朗氏)・金養連専任理事(中島孝氏)ら永年におたつて養蚕業に携わってきた関係者を含め総勢六十余名が出席し、かつての「養蚕王国長野」の往時を語り、かつての主権者の地内会長は、昭和二十三年設立した果実連の四十年間の果してきた役割、経緯についてふれるとともに、今日までの協力と支援に対して感謝の意を表し、今後の経済連養蚕事業に対する一層の支援を求めた。長期にわたって低迷を余儀なくされてきた養蚕業も、昨年より情勢は逆転し、明るい展望の持てる環境を呈している。本県の養蚕業は、地域特定化傾向にあるものの重要な部作品目として位置づけられており、本会では苗の生産拡大を最優先とした振興対策を策定し、積極的に取り組むこととしている。
なお、現在養蚕四十年の歴史を振り返り「長野県養蚕史」の編集をすすめており、六月発刊予定である。(果実課)



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA全農長野 フルーツフォトコンテスト 2021

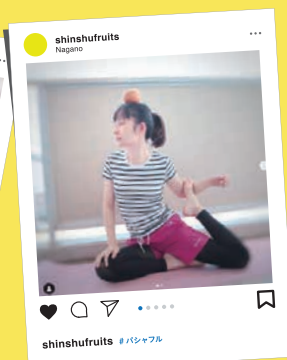


パシヤフル!

@shinshufruits



フルーツと一緒に
写真を撮って、
Instagramで応募しよう!
入賞者には、豪華賞品も
あります!



#パシヤフル

ハッシュタグをつけて
アップしてね!



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA 全農長野ホームページ..... <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」..... <https://www.ja-town.com>



グリーンリーダー7月号 (毎月発行) 2021年6月20日発行 第506号
発行/ JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 発行人/ 高田武司 印刷/ PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3